

地域ICT絆プロジェクト

事業テーマ：地域活性化

「オンパクICTプラットフォーム整備事業」

実施団体：NPO法人ハットウオンパク（実施エリア：大分県別府市 他全国）

当NPOは大分県別府市における「別府八湯温泉博覧会」の実践に基づく、地域イベント開催を契機とする地域人材発掘・育成手法＝「オンパク手法」の創始者として、全国にオンパク手法の取り組む団体に支援を行っている。本事業は各地の取り組みやイベントの円滑な開催に必要となるICTインフラを共通化して、イベント告知・参加申込処理等の大幅な業務効率化を実現するとともに、各地のイベントで培われたノウハウ、参加者情報の蓄積及び事業者相互の交流促進にも活用し、全国の地域活性化の活動を推進している。

事業化の背景

- 当NPOは平成13年度から大分県別府市において地域体験・交流型サービスの振興を図る別府八湯温泉泊覧会（オンパク）事業を展開し、地域に眠る資源・サービスを活用した地域体験・参加型交流型イベント（地域博覧会）として注目され始めた。
- 別府市の成功が他の地域からの関心を集め、平成22年度に全国のオンパク手法導入地域が連携して人材の育成と事業連携を目的にした「一般社団法人ジャパン・オンパク」が設立され、まちづくり・ひとづくりの分野で成果を上げてきた。
 - 現在までに国内外54地域が「オンパク手法」を導入
- オンパク手法のイベントの特徴である「特定期間、同一地域内での小規模イベントを同時多発的に開催する」ための安価で柔軟な情報発信・業務処理システムは存在せず、当NPOによる個別システムによる対応にも限界を迎えつつあった。
 - イベント開催期間の一時的な利用が多く且つ当日ピーク利用に合わせたサーバーの能力を準備することはコストが高く、効率も悪い
 - また、民間のチケットサービスや旅行会社運営のイベント検索サイト等の商用システムに委託するにはイベントの規模が小さい
 - 各地に情報システム開発・運用を担える人材が少ない
- イベント告知・参加申込処理等の業務、ノウハウや参加者情報の蓄積及び事業者相互の交流促進を目的として、ICTインフラを共通化する趣旨で本事業が進められた。



事業内容

「オンパク手法」イベントの運営に必要なICT基盤として、地域やテーマ毎に多種多様な小規模イベントを集積して開催する上で必要とされる機能（顧客の管理、イベントの情報提供・予約受付等）をクラウドで提供する「オンパク・クラウドアプリケーションサービス（ONPAKU CAS）」を新たに開発し、各地のジャパン・オンパクの会員や手法を導入する事業者へ広く公開している。このシステムにより、各地のオンパク型イベントの運営主体は、独自にシステム開発をする場合と比較して、大幅に時間とコストを節約することが可能になる。

■ システムの特徴

1. イベント開催業務支援機能

- ・来場者の登録・管理
- ・イベント情報の提供
- ・イベント（オンパク・プログラム）の登録・検索・予約受付
- ・事業者・会場等の登録

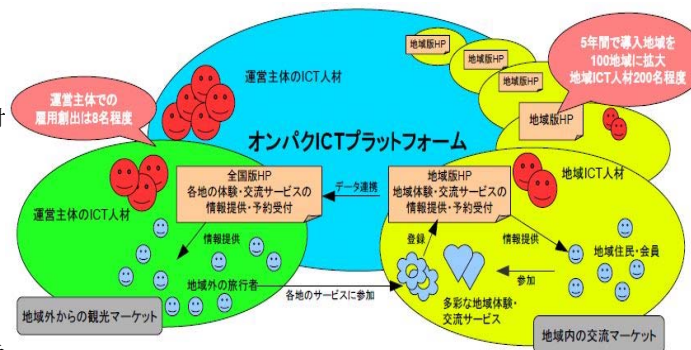
2. 会員HP作成・運営支援機能

- ・テンプレートに従いシステムの構築が可能、複雑なデータベース設計等の知識は必要なく、短時間で開始できる
- ・イベント期間に合わせた利用が可能
- ・長期にシステムの維持・管理が必要ない

3. オンパク本部⇄オンパク会員間の情報共有機能

- ・各地の集客状況や参加者情報を共有し、ターゲットマーケティングによる効率的な集客や企画精度の向上を実現できる
- ・各地で運営の中核を担う人材や運営アドバイザー情報も公開し、お互いのイベントをサポートする体制を構築
- ・地域外からの観光客に対して、全国版HPをポータルとして広くアプローチすることも想定した設計を有する

「事業概要図」



利用例「ベップ・アートマンスのHP」



利用例「ハットウオンパク2012の予約・情報」

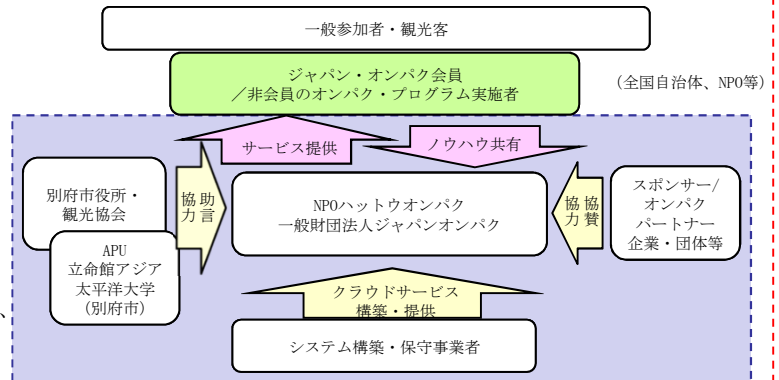


導入費用

- 本システム導入の概算費用（実績ベース）
 - ・導入費用：約4,700万円
 - 内訳：システム開発・構築費3,100万円、機器等1,600万円
 - ・運用費用：約45万円
 - 内訳：システム保守費12万円・通信費33万円
- 本システムの利用料金（ベーシックプラン）
 - ・導入費用：約30万円
 - 内訳：立上時登録料10万円、デザインおよびデータ登録20万円
 - ・運用費用：約20万円/年
 - 内訳：システム利用費10万円、データ管理約10万円

事業実施体制・運営状況

1. 当NPOは毎年行われる「別府八湯温泉泊覧会」の主催者として、地域内 約200事業者と連携し新しい企画等にチャレンジしている。
2. 「オンパク手法」の横展開を行う一般財団法人ジャパン・オンパクの主体者としても研修会・イベント支援・コンサルティング・情報システムを提供する等、継続的な支援を行っている。
3. 一般財団法人ジャパン・オンパクは賛同者を会員組織化し、会費・サービス利用料により自立運営している。



ICT活用の3要素:「つなげる力」「見える化力」「横串を通す力」から見る、本事業の特徴・差別化要素

つなげる力	■ オンパク本部とシステム利用会員・事業者間のコミュニケーション、オンパクのアドバイザーのサポート業務の円滑化・効率化を実現している。 ■ 各地域の「まちおこし」イベントを地域における一過性のものとして終わらないように、ICTを活用しながらイベントでつながった住民相互のネットワークの維持や各地の地域リーダー間でのイベントノウハウの共有等、地域の「同志」を連携させる試みに成功している。
見える化力	■ 各地のイベント運営の経験によって得られたノウハウや評価指標の共有・蓄積が可能となり、イベントの安定的開催に貢献している。 ■ 運営の核となる人材や参加者のDB化により、事業本来の目的である「地域活性化人材の発掘・育成・相互交流ネットワーク活性化」に貢献している。
横串を通す力	■ イベントで利用する会員共有のシステムをクラウド化し、ITコストが大幅に削減された。 ➢ 繁閑見通しに合わせて柔軟にシステムを拡張・縮小することが可能であり、イベント期間限定の利用且つアクセスが一時的に集中するシステムには最適 ➢ また、会員にとってもシステムを個別に構築するより、はるかに低コストで実現できる

事業の成果（アウトカム／アウトプット）

- 現在、会員の半数以上が当システムを活用している。ITコストの即効性のある効果が実現できるため、利用者は徐々に拡大している。
- 当NP0にとっても、当システムをクラウドで構築したことにより、ソフトウェア更新等に伴うサーバーのメンテナンス費用が半減し、大幅なコスト削減を達成した。

当プラットフォーム 利用件数の推移	H25上期 (4-9月)	H25下期 (10-3月)	H26上期 (4-9月)
月間平均アクセス件数	100,359件	88,832件	126,438件



初期段階のシステム構築と操作支援の様子

今後の課題と展望

- 加盟する地域団体の継続的な拡大・充実及び人的交流のさらなる活発化への注力のため、本システムの運用については外部委託化を検討している。
- 人材相互のコミュニケーション円滑化に向けては、民間のSNSサービス等を積極的に活用したい。
- 蓄積される地域活性化人材データベースを活用した、地域におけるさらなるサービスの可能性を追求する。
 - 外部の力を借りてデータマイニング等の情報技術手法の導入等により、様々な潜在的可能性が広がる

＜実施団体の横顔＞



別府八湯地域において温泉を核としたウェルネス産業を起こす事を目的としています。

＜本件に関する問い合わせ先・導入検討・視察の相談先＞

電話 0977-22-0401
e-mail: kumiai[atmark]fat.coara.or.jp